

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	ばね指の対称性罹患に関する後方視的検討
研究責任者	鈴木 歩実
研究実施体制	手外科・マイクロサージャリーセンター
研究期間	臨床研究審査委員会承認日～2020年8月31日 (一旦2018年12月31日で研究は終了しましたが、対象者を追加して再検討する必要が生じ、今回期間延長と症例追加を行い、データ収集を再開することとしました)
対象者	2006年7月1日～2018年6月30日の間に当院で治療を受けた10本の手指のうち2本以上にQuinell grade 2(弾発現象が認められるもの)以上のばね指を発症した成人の患者さんです。
研究の意義・目的	目的はばね指の複数指罹患に関して一定の傾向、特に対側の同じ指に起こりやすいかどうかを検討することです。この結果により、今後ばね指の患者さんの診療時、次に発症しやすい指とその時期を予測・ご説明することで、生活指導や外用薬などでの発症予防・重症化しないように早期の対応が可能となると考えられます。
研究の方法	対象患者さんの性別、ご年齢、併存症、ご職業、利き手、罹患指とそれぞれの指の発症時期、行った治療を調査し、上記を検討します。また、性別や併存症などがその結果に影響し得るかも併せて検討します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 手外科・マイクロサージャリーセンター 鈴木 歩実 TEL:053-474-2222(代表) 手外科外来 9:00～17:00 平日